



02. 箕面こどもの森学園

個別学習では、一ヶ月ごとに何を自然に見つけることもできる。隣の子どもがやっていることを見ると、やりたいことを自然に見つけることもできる。

子どもたちはプロジェクトの間に自主的に物事に取り組み、その背景には自主性を引き出すスタッフの努力や環境づくりがあった。自分から動けない生徒は参考書や、過去の生徒の作品例などの豊富なお手本、レシビを見ることのできる。隣の子どもがやっていることを見ると、やりたいことを自然に見つけることもできる。

阪急北千里駅から約15分歩くと、住宅街の中に温かな色合いをした箕面こどもの森学園の校舎が見えてくる。学園には、6歳〜13歳の子どもが約30名在籍している。

失敗することが怖い生徒に対しては、簡単な成功体験を積み重ねることを大切にしている。一人で出来ないことはスタッフが途中までフォローをして、最後の少しの部分を子どもにさせ「出来た」と思えるようにする。

子どもたちはプロジェクトの間に自主的に物事に取り組み、その背景には自主性を引き出すスタッフの努力や環境づくりがあった。自分から動けない生徒は参考書や、過去の生徒の作品例などの豊富なお手本、レシビを見ることのできる。隣の子どもがやっていることを見ると、やりたいことを自然に見つけることもできる。

勉強するか自分で計画を立てて、一週間ごとに振り返りをする。大人から言われるのではなく自分で決めた学習に取り組むのだ。



認定NPO法人  
箕面こどもの森学園  
代表者：辻正矩  
活動開始年：2004年  
住所：大阪府箕面市小野原西 6-15-31



01. 侍学園スクオーラ・今人

長野県上田市に、若者の自立を支援する学校がある。学校と名前はつくけれど、決められたカリキュラムはなく、卒業の日も決められていない。それが、侍学園だ。

侍学園は、「学びや新しい自分との出会いを求める全ての人々の為の学校」をテーマに、全国から生徒を受け入れている。

学園での生活は、学習に限らず、生きる力を養うためのさまざまな分野に及ぶ。一日のスタートは、朝活から。読書やギターの演奏など、生徒ひとりひとりが好きなことに時間を使い、自らを探究する。他にも、職業人講話という、公務員、美容師など色んな職業に就く人達の話を聞く授業があったり、農業を通じて自然と触れ合う機会があったり。自分たちで何が必要か考え、実行する力を養う授業が中心だ。

在籍する生徒は、10代から30代と幅広い。学校での集団生活に馴染めなかった生徒、一度は就職したものの人間関係などに悩み退職した生徒など、ここにやってくる。

様々な人の生き方、考えに触れ、チャレンジを繰り返す中で少しずつ生徒に自主性が芽生え、「こんなことがしたい」という気持ち湧いてくる。それが、新しい生活への大きな第一歩だ。

スタッフや生徒同士、学園を支える様々な人々との関わり、寮での共同生活などを通じて、生徒は事情はさまざま。そんな生徒ひとりひとりが、生きる力を身につけ、再び社会の中で自分らしく生きられるようサポートするのがスタッフの役割だ。スタッフは、親でもなければ、先生でもない。生徒と一緒に成長できる「共育」を目指す存在、あえて言うならナナメの関係だ。

NPO 法人 侍学園 スクオーラ・今人



認定NPO法人  
侍学園スクオーラ・今人  
代表者：長岡秀貴  
活動開始年：2004年  
住所：長野県上田市本郷 1524-1

次第に未来に目を向けるようになる。卒業の日を決めるのも、自身。侍学園で何を学んだのか。最後にそんなことをスタッフと考えるながら、新たな人生へと踏み出していく。

されている風土の中で、子どもたちは周りから認められている感覚を徐々に持ちはじめ。そして「自分でいいんだ！」と自信を持って生きることができるようになる。